

# ほけんだより6月

大野原小学校  
NO.4

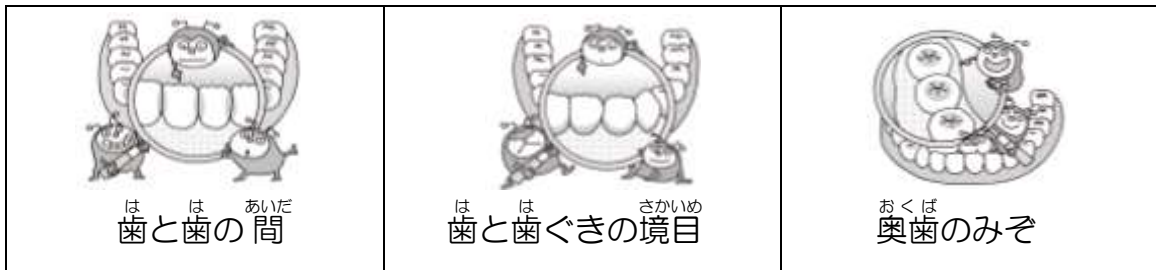
令和3年6月11日

つゆ きせつ 梅雨の季節になりました。つゆ しつど おんど たか 梅雨になると湿度と温度も高くなるので、  
ばい菌が増えやすく、かんせんしょう しょくちゅうどく しんばい 感染症や食中毒が心配になります。コロナ  
ウイルスの感染予防に加え、ようれんきんかんせんしょう とう なつ 溶連菌感染症やアデノウイルス等の夏の  
びょうき ちゅうい 病気にも注意していかねければなりません。てあら さっきん みまわ 手洗い・殺菌をして身の回  
りの衛生に気をつけましょう。

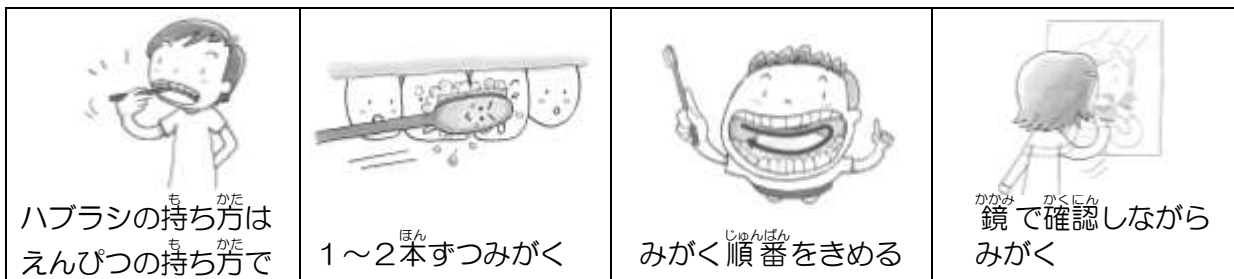


また、6月は歯と口の健康強化月です。ふだんの歯みがきを振り返り、いつも以上にいい歯みがきを心がけたり、歯医者さんへ行って、むし歯予防をしてもらったりしましょう。

## ★みがき残しが多いところ★



## ★みがきかたのポイント★



## 2・4・6年生の歯の治療状況をお知らせします



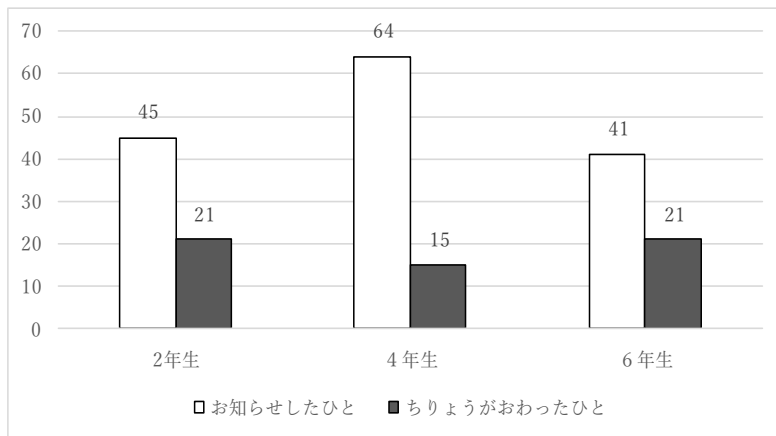
### 《2・4・6年生の歯科検診の結果》

むし歯があった人	94人
要注意乳歯があった人	3人
歯垢・歯石がついていた人	9人
歯肉炎の疑いがあった人	4人
歯並び、噛み合わせの異常があった人	54人

2・4・6年生の歯科検診では、治療のお知らせをわたした人は150人でした。6月10日までで、治療が終わった人は57人です。

そのままにしておくと、むし歯がすすんで神経を抜かなければならなくなったり歯周病になったりする可能性があります。お知らせをもらっている人は、早めにはいしゃさんで治療をしてもらいましょう。

## 《2・4・6年生の歯の治療状況》



おおのはらしょうがっこう ぜんこうせい は  
大野原小学校では、全校生むし歯の  
めざ は ちりょう  
を目指して、クラスごとに歯の治療の  
ようす ほけんしつまえ けいじ おしらせ  
様子を、保健室前の掲示でお知らせして  
います。

がつ にち ねんひがしくみ ぜんいんちりょう  
6月8日に6年東組が全員治療を  
お ばん ちりょうりつ たっせい  
終えて1番に治療率100%を達成し  
ました。

ほか ちりょうりつ  
他のクラスも、治療率  
めざ  
100%を目指しましょう！



※ 延期になった1・3・5年生の歯科検診は、9月に予定しています。1・3・5年生はそれまでに、  
じぜん むしば ちりょう  
事前に虫歯の治療をしたり、ほいしやさんでよぼう  
歯医者さんで予防をもらったりして歯や口の衛生に気をつけましょ  
う。



## ねっちゅうしょう き 熱中症に気をつけよう！



がつ はい ひるま きおん ど こ ひ  
6月に入ってから、昼間の気温が30℃を超える日が出てきました。

からだ あつ な じき とく ねっちゅうしょう ちゅうい ひつよう ねっちゅうしょう ひ ぎ つよ  
体が熱さに慣れていないこの時期は、特に熱中症に注意が必要です。熱中症とは、日差しが強  
ところ きおん たか ところ しっけ おお ところ なが  
い所や、気温の高い所、じめじめと湿気の多い所に長くいたときに、たくさん汗をかいて体の体温  
ちようせつ しく はたら お びょうき ねっちゅうしょう からだ かん  
調節の仕組みがうまく働かなくなって起こる病気です。熱中症になると、体がだるく感じたり、  
た すつつ きんにくつう は け いのち  
めまいや立ちくらみがしたり、頭痛、筋肉痛、吐き気がしたりします。ひどくなると命にかかわるこ  
ともあります。外に出る時は帽子をかぶり、こまめに休憩や水分補給をするようにしましょう。

### 【熱中症にならないために】

- てきど すいぶん えんぶん ほきゆう かつどう  
適度に水分や塩分を補給しながら、活動する。
- そと で かなら ぼうし  
外に出るときは、必ず帽子をかぶる。
- そと かつどう じかんたい なが ばしょ かんが  
外で活動する時間帯や長さ、場所を考える
- こうおん しつない くるま なか こ  
高温の室内や車の中ではぜったいに子どもだけ  
にならない。

あつ とき きおん たいちよう かんが  
暑い時は、気温や体調を考え、  
マスクを着用したり外したりしましょ  
う。

とうげこうちゅう  
登下校中や外で遊ぶときは、人と  
の距離が十分にとれば、マスクを  
着用しなくても、かまいませんが、マ  
スクは毎日持ってきてきましょう。



### 保護者のみなさまへ 【児童用の生理用品についてお知らせ】

先日、5年生の女子児童を対象に、保健指導として、月経の手当の仕方と、下着の選び方について、お話をしました。ご家庭でもお子様の成長や理解に合わせて、お話しをしたり、相談にのったりしていただけると、子どもたちも安心して二次性徴を迎えることができると思います。

また、様々な事情で児童用に生理用品を入手することが難しいご家庭については、保健室で配布することも可能です。お子さまより申し出にくい場合は、保護者の方からご連絡いただいても、対応いたしますので、養護教諭まで、ご連絡ください。

